

SNS チャットによる友達の輪拡大支援システム

035067 春日 章宏

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

インターネット上でコミュニケーションを行う場の一つとして、Web上にmixiやGREEといったSNS(Social Networking Service)がある。SNSへの参加者は年々増加傾向にあり、国内最大のSNSであるmixiは、利用者数が800万人(2007年1月)を超えている。SNSが提供するサービスには、「コミュニティ」、「日記」等のサービスがあり、知人とのコミュニケーションを円滑に行うことができる。その他に「趣味」、「出身校」、「友達の友達」等の繋がりを通じて、新たな人間関係を構築することもできる。このような経緯から、SNSは現在注目を集めている。

しかし、実際にはSNSで知らない人と円滑にコミュニケーションを行うことができず、新しい人間関係を築けない人達もいる。この人達は、現実社会でもコミュニケーションを行う際、「自分の友達」という仲介者を介して知らない人とコミュニケーションを行う傾向がある。しかし現状のSNSでは、このような人達をサポートできていない。本研究はこの問題点を解決し「SNSでの友達の輪を広げる」ことを目標としたシステムを考案・作成した。

2. システム概要

本システムでは、phpfreechatを基板にチャットシステムを作成し、OpenPNEというSNSにチャットシステムを組み込んだ。SNSのマイページからチャットシステムを起動する項目を作成し、チャットシステム起動時にフレームを作成し、チャットとSNS内の操作を同時に行える構成にした。またチャットシステム内から友達へ「チャットへの招待状」を送信できる。

仲介者を介した「友達の友達」の関係を維持するための制限として、チャットシステムへ招待できる人物は「友達」までの関係の人物のみ招待できる制限をした。さらにチャットシステム内で「チャットへの招待状」を送信できる人物は、そのチャットシステムを起動した人物

のみが招待可能である制限をした。これらの制限から、チャットシステム内で仲介者を介した「友達の友達」の関係を維持することができる。本研究で作成したSNSチャットシステムを図1に示す。

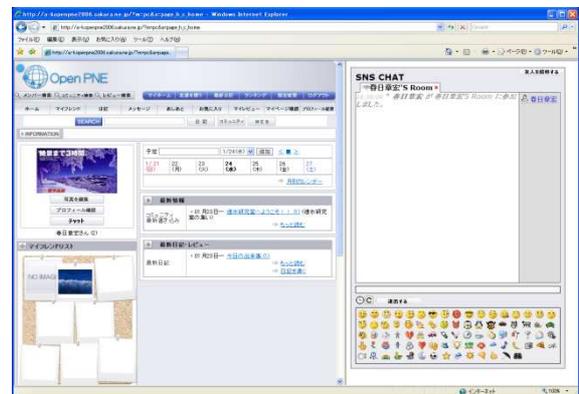


図1. SNSチャットシステム

3. 評価

本研究で試作したシステムを、「現時点では友達ではないが親睦を深めたい」と思っている8人に被験者となってもらい、意見・評価を得た。その結果、「身内だけでコミュニケーションを行えるため、安心してできる」、「mixiでは特定の人達だけでのコミュニケーションができないため、mixiより友達を作りやすい環境である」等の評価を、仲介者を介してコミュニケーションを行う人達の50%以上から得られた。このことから仲介者を介してコミュニケーションを行う人達をサポートすることができ、本研究の「友達の輪を広げる」目的を達成することができた。

4. まとめ

SNSに「友達の友達」まで参加できるチャットシステムを組み込むことで、SNSでより円滑にコミュニケーションを行うことができ、「友達の輪を広げる」という目的を達成することができた。今後は、「友達のオンライン情報の表示」、「チャットシステムの会話記録」を中心に改善するのが課題である。